

オネシモ：兄弟として迎えられる

オネシモについて、根拠をもって何が言えますか。

オネシモは、パウロがフィレモンに願い出る中心人物で、コロサイの信徒への手紙にも名があります。パウロは愛する兄弟として迎えるよう求めます。手紙は彼が逃亡者だったと確定せず、最後の結果も記していません。

願いそのものから始める

パウロはオネシモを親愛の情を込めて語り、役立つ者となったと説明し、送り返すと述べます。何か不正や負債があれば、自分が責任を負うとも申し出ます。しかし、これらの言葉は以前の別離の事情を語らず、盗みを確定せず、どうしてパウロのもとへ来たかも示しません。よく知られた逃亡奴隷の筋書きは再構成であり、フィレモンへの手紙が直接語る出来事ではありません。

聖書の参照箇所: フィレモンへの手紙 1章10～19節

出典: letters

不平等な世界の中での兄弟関係

この願いは、パウロを迎えるようにオネシモを迎え、奴隷という分類を超えて愛する兄弟と認めるよう求めます。キリストにある家族関係を通して、二人の関係を問い直します。ただし、奴隷制廃止を直接宣言したり、法的解放を報告したりはしていません。責任ある読み方は奴隷制の暴力性を認め、社会的な解決を最後まで記していないことを、搾取の承認へ変えません。

聖書の参照箇所: フィレモンへの手紙 1章15～21節

出典: letters

つながっていても不完全な記録

コロサイの信徒への手紙は、ティキコと共にオネシモを挙げ、受取人の共同体に属する人と述べます。共通する人名は手紙同士を結び付けますが、同時の発送、同等の運び手としての役割、経路、投獄地を証明しません。再構成に余地があっても、実践的な課題は明白です。歓迎には、相手の尊厳を認めるために代価を払うことが伴います。有害な扱いを変えずに親愛の言葉だけを述べることはありません。

聖書の参照箇所: コロサイの信徒への手紙 4章7～9節・フィレモンへの手紙 1章17～21節

出典: letters

出典

- [letters] Romans through Philemon; passage references are supplied in each section.
<https://ebible.org/web/>

独自に制作した本文と画像：CC BY 4.0。聖書本文と第三者の素材は対象外です。

Pauline Letters · CC BY 4.0 · <https://paulineletters.com/ja/explore/resources/onesimus>